

第1回 高1英語

総評

今回の試験では、総合的な英語力を測るため、リスニング、文法・語法、英作文、長文読解など多様な形式で出題している。基本的な文法・語法の正確な知識だけでなく、それらをもとに、伝えたいことを英語で表現する力、試験時間内に与えられた英文を理解し、読み取った内容を的確にまとめる力を求めている。高2に向けて、これからは、英文1文ごとの理解だけでなく、パラグラフ、英文全体の文脈を意識した読解練習をしてほしい。今回の結果は、総得点だけでなく大問ごとの出来や誤答の内容もきちんと確認しておこう。

問題別講評・採点基準

1 リスニング

ナチュラルな読み上げスピードによる放送であった。放送前に設問に目を通し、注意して聞くべきポイントをあらかじめ予測しておく必要がある。計算が必要な設問は適宜メモを取りながら聞くこと。聞き取りにくかった箇所については、放送された英文を音読して復習しておこう。

A

英問英答形式の設問で、選択肢の英文がやや長く、英文を聞きながらの素早い判断が求められる。放送された英文自体は難解なものではないが、映画に関する情報、2人の映画に対する評価について正確に把握する必要があった。

B

Part 1

(3) 設問文中の NOT true を見落とさないこと。

Part 2

ディクテーションでは、文脈と単語の知識も活用して推測することが必要となる。つづりミスの減点は各一1点であるが、その他の単語の抜けや単語の誤りは配点分の減点とした。

(1) 特定の日付の前には on をつける。

(3) free of charge は「無料で」の意。

2 文法・語法

文法事項は、受動態、助動詞、不定詞／動名詞、仮定法、動詞の語法など広い範囲を含めた。(5) や (9) は文脈も把握する必要がある。イディオムの意味も復習しておこう。

3 英作文

この大問では、語彙・構文の正確な知識と、それらを組み合わせて適切な英文を作り、表現する力を問うている。

A 整序英作文

採点は、部分ごとの加点は行わず、英文全体として意味を成さない解答は配点分の減点とした。

(1) in such a hurry that … という語順に注意。

(2) which way to choose は名詞句で、動詞の目的語になることを確認しておこう。

(3) 間接疑問文は<疑問詞+S+V>の形になる。

(4) 暗唱できるレベルにまでしておきたい構文。

B 条件付き英作文

会話文の一部を埋める形式で、グラフの数値の変化や空所前後の文脈のつながりを考えて書くことが条件。グラフの情報を不足なく盛り込めていたか、言いたいことが採点者に伝わる英文だったか、返却された答案を振り返っておこう。

採点は、内容面と文法・語彙の面から減点法で行った。

(1) 空所後の「ゴミが増えた理由」についての会話につなげるためには、①2012年以前と比べて、②ゴミの量が増加していること、の2点を含める必要がある。①、②いずれかのポイントが欠けていたり空所前の文とつながらなかつたりした場合は-3点とした。

(2) 「学校内のゴミを減らすための、個人でできる具体的方策」をポイントとし、具体的でない内容は減点対象とした。つづりミスや文法面でのケアレスミスをしないよう、書き終えたら必ず見直すこと。

C 和文英訳

(1)、(2)ともに以下に示すパートに分け、減点法で採点を行った。

(1) ○成績が落ちたので ……3点

○父にひどく叱られて ……3点

○3日間ケータイを取り上げられました ……4点

「取り上げる」を take だけとした答案が散見された。take away といったイディオムを覚えておくと

英語表現の幅が広がるだろう。

- (2) ○ケータイなしの生活を経験してはじめて ……5点
○いかにケータイに依存していたかがわかりました ……5点

「依存していた」を *depend* など現在時制で表した答案が多々見られた。時制のケアレスミスには十分注意を払うこと。

4 長文読解

引越先で知り合った女の子、筆者の父母とのやりとりをもとに、筆者が物を盗むに至った心理を描写した文章。登場人物の発言の意図を正しく把握することが大切である。設問で取り上げた下線部は内容理解において重要な箇所なので、復習の際はダミー選択肢についてもよく読み、どこが本文と異なるのかをはっきりさせておくと理解が深まるだろう。なお、出典は今年度ノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんの自伝である。余力のある人は原書を読んでみてほしい。

(3) 和訳問題。以下に示すパートに分け、減点法で採点した。

- *Are you trying to bring shame on us* ……5点
○ *that we can't afford to buy such things* ……3点

bring shame on O は「O に恥をかかせる」の意。

「恥を持ってくる」など不自然な訳出は減点対象とした。

(4) 本文の *Safina is younger than you and you should have taught her better* 部分が参照箇所。「誰に」、「何を」、「どうする」を解答に含めること。<*should have*+過去分詞> (…すべきだったのに(しなかった)) の意味を正しく覚えておきたい。

5 長文読解

筆者が自身の経験談を交えながら失敗から学ぶことの大切さを述べた英文。

(1) 和訳問題。以下に示すパートに分け、減点法で採点した。

- *The sooner you do this ~, the better* ……8点
○ *after recognizing your mistake* ……4点
this の内容を正しく訳出できていないものは4点の減点とした。*this* は「謝ること」を指している。

(3) 本文では① *I apologized* ② *I appreciated*

the feedback ③ *I told her it was helpful to know I had inadvertently misrepresented myself.* が参照箇所。筆者の「行動」を問うているため、③で「自分の熱心さが誤解を招いたと知ったこと」などとしたものは減点対象とした。

(4) 和訳問題。以下に示すパートに分け、減点法で採点した。

- *those who show that they are willing to learn* ……6点
○ *can turn negative situations around* ……4点
○ *very effectively* ……2点
negative をカタカナ語で「ネガティブな」と直訳したものは減点対象とした。*turn O around* はここでは「O を好転させる」の意。「O を回転させる ; O を転がす」など不自然な訳出をしたものは減点とした。

第1回 高1数学

総評

今回は、必答問題を「数と式」「2次関数」「場合の数と確率」から出題し、選択問題として「図形と計量」「整数の性質」「図形と方程式」を出題した。

全体的に、基本的な処理はおおむねよくできていたが、応用になると手がつかなかった人が多いようだ。ほぼ正答であっても、遠回りの解法や、論証の書き方に不備がある答案も見られた。「解答」や「解説」を確認し、よく復習しておいてほしい。

問題別講評

1 小問集合

- (1) よくできていた。
- (2) 不足があったり、余分なものを含めたりしているものがあつた。絶対値の扱いをよく確認しておこう。
- (3) できているものも多くあつたが、**オ**では2桁の数を書いたり、分数を書いたりするなど、問題の意味を取り違えているものが散見された。
- (4) **カ**、**キ**ともに非常に出来が悪かつた。必要条件・十分条件と数直線上で表される領域との関係を理解していないものと思われる。
- (5) **コ**は、重複を除けていないと思われるものが多く見られ、出来はよくなかつた。

2 2次関数

2次関数のグラフの移動と、2つのグラフの位置関係に関する問題。

- (1) (2) 対称移動や平行移動について理解できている答案が多く、よくできていた。
- (3) $f(x) - g(x) = 0$ の判別式について考えている答案のほか、 $y = f(x) - g(x)$ のグラフの頂点について考えている答案もあつた。誤答としては、 $(f(x) \text{の最小値}) > (g(x) \text{の最大値})$ としているものがあつた。
- (4) $(f(x) \text{の最大値}) < (g(x) \text{の最小値})$ と考えている答案があつた。(3)とあわせて、「任意の」と「ある」の違いを確認しておこう。

3 場合の数と確率

条件つき確率の問題。

- (1) よくできていた。
- (2) できているものもあつたが、事象を重複して数えているものもあつた。
- (3) 書き上げて数えようとして失敗しているものがあつた。「解答」の方法を確認しておいてほしい。
- (4) 積 abc 、和 $a+b+c$ がともに3の倍数である確率を考えてしまっているものがあつた。

4 図形と計量

四面体を題材とした、空間図形の問題。

- (1) よくできていた。ABについては、 $\triangle OAB$ が正三角形になることから求めた答案もあつた。
- (2) よくできていた。
- (3) (i) $\cos \angle CAB > 0$ であることを確認していない答案があつた。
- (4) (ii) よくできていた。
- (5) (iii) Oから平面ABCに下ろした垂線と平面ABCの交点をHとすると、Hが $\triangle ABC$ の外心となる。これが見抜けたかどうかは分かれ目であつた。

5 整数の性質

方程式の整数解を求める問題。

- (1) よくできていた。
- (2) (i) (ii) できているものもあつたが、 x と y の大小関係をふまえずに解答してしまったものもあつた。
- (3) z の値で場合分けをすることには気づいているものの、解が存在しないことを述べられずに止まってしまうものもいくつか見られた。

6 図形と方程式

2変数関数の最大値・最小値を領域を用いて求める問題。

- (1) よくできていた。
- (2) 円の内部全体を答の領域としている答案や、第1象限の部分だけを答の領域としている答案があつた。「または」の意味を確認しておこう。
- (3) 解法は様々で、中心から接線までの距離と半径が等しくなることを利用している答案もあつた。
- (4) (2)で領域の図示を誤つたため、(4)も間違えている答案があつた。また、答が正しくても、点 $(0, -1)$ を通るときが最小となる理由まで記述できた答案は少なかつた。

採点基準

以下に配点の目安を記しますので、参考にしてください。なお、下記は目安であり、立式や計算の過程において、場合に応じて部分的に得点を与えることや、減点することがあります。

また、「解答」以外の方法で解いた場合などは、以下の基準に当てはまらないこともあります。

1 (50点)

いずれも答に

- (1) **ア**:3点, **イ**:5点 (2) **ウ**:6点
- (3) **エ**:4点, **オ**:6点
- (4) **カ**:5点, **キ**:5点
- (5) **ク**:5点, **ケ**:5点, **コ**:6点

2 (50点)

- (1) (6点)
答に6点
- (2) (14点)
求める放物線の頂点 $(-2, -2+a)$ を得て
.....6点
答に8点
- (3) (15点)
 $f(x) - g(x) = 0$ の判別式 D の条件を求めて
.....10点
答に5点
- (4) (15点)
 $-\sqrt{2} \leq x \leq \sqrt{2}$ における $f(x)$ の最小値,
 $g(x)$ の最大値を求めて6点
答に9点

3 (50点)

- (1) (5点)
答に5点
- (2) (10点)
 abc が3の倍数とならない場合の数を
得て 4点
答に6点
- (3) (15点)
 $a+b+c$ が3の倍数となる場合の数を
得て10点
答に5点
- (4) (20点)
積 abc , 和 $a+b+c$ がともに3の倍数となる
場合の数を
得て5点
答に15点

4 (50点)

- (1) (10点)
AB を求めて5点
BC を求めて5点
- (2) (5点)
答に5点
- (3) (i) (5点)
答に5点
- (3) (ii) (10点)
CA についての方程式を作って4点
答に6点
- (3) (iii) (20点)
 $\triangle ABC$ の面積を求めて5点
点 **H** が $\triangle ABC$ の外心とわかって5点
答に10点

5 (50点)

- (1) (5点)
答に5点
- (2) (i) (10点)
 $(3x-8)(y-1)=8$ を得て2点
答に8点
- (2) (ii) (15点)
 $(x-4)(2y-3)=12$ を得て3点
答に12点
- (3) (20点)
 $z=1$ のときの求める値の組を得て5点
 $z=2$ のときの求める値の組を得て5点
 $z=3$ で不適であることを示して5点
 $z \geq 4$ で不適であることを示して5点

6 (50点)

- (1) (6点)
答に6点
- (2) (10点)
円 **C** を図示して2点
題意の領域を図示して8点
- (3) (14点)
接線の y 切片 $2 \pm \sqrt{10}$ を得て8点
答に6点
- (4) (20点)
最大値を求めて10点
最小値を求めて10点

総評

評論、小説、古文、漢文について、苦手な分野を作らず、バランスよく国語の力を伸ばしていきたい。高一の現時点では、古文、漢文の学習状況によって、点数の差がつきやすく、今回の模試でもその傾向が見られた。古典で思うように得点できなかった人は、まず、単語の意味や文法事項、句形の知識などの基礎をしっかりと身につけよう。基礎固めがこの先の伸びにつながるの、今回間違えたところはきちんと復習しておくことが大切だ。

問題別講評・採点基準

一 評論

(一) 熟語は、一字でも誤りを含んでいたら不可。
 (c) 「過敏」の「敏」を「悔」や「便」とする誤りが目立った。(d) 「潤滑油」の「潤」を「順」「循」とするもの、「滑」を「活」とする誤りが多い。形の似た字や読み方の同じ字に注意しよう。

(二) Xはまずまずの出来。Yは苦勞した人が多かったようだ。空欄のあとの逆接の「が」に着目し、〈現実ではないもの〉といった内容の選択肢を選びたい。

(三) 「採点基準」

「子どもが a 両親からの b 精神的な拘束に距離を置くことで、自我の c 自由とそれに基づく d 自律

性を獲得する」と説明して — 11点

* a 1点、b 4点、c 3点、d 3点。

a b c の要素を押さえ、d が欠けている答案が目立った。傍線(1)の直後の二文をもとにすると、ほぼ制限字数に達し、a b c の要素を含んだ答案となる。そのあとに続く d 「自律性」まで答えに含めるには、表現の調整が必要。無駄な表現を省き、全ての要素を端的に盛り込んでいるよい答案も見られた。

(四) よく読解できている答案が多かった。

(五) 「採点基準」

「a 成長すると子どもその意味が理解できなくなる上、b 相互の信用に依存し、人格と行為の自律性を尊重する近代社会では、c うそは正直というモラルへの背信とみなされる」と説明して — 15点
 * a 3点、b 6点、c 6点。

最終段落の近代社会の特徴からまとめた答案が多く、よいところに着目できている。ここを使えば、b c の要素を押さえられるが、もう少し広い範囲に目を向けるとさらによい。傍線(3)の少しあとに「…：要因のみではない」とあるため、この前に書かれていることも要因として挙げられると判断できる。

(六) 本文全体が対象となる内容合致問題で、選択肢が三行と長く、本文の該当箇所と比較して丁寧に検討する必要がある。誤答は比較的(7)が目立った。解説をよく読んで復習しておこう。

二 小説

(一) 「採点基準」

「a 貧しい環境に生育した者として、b 貧者のために尽力する」と説明して — 8点

* a 4点、b 4点。

傍線(1)のあとの文から「貧乏百姓の倅」という言葉を用いて a の要素を押さえた答案が多かった。一方、b の要素が欠落している答案が目立つ。7行目に「貧乏人の味方になって、貧乏人がもつとらしく生きて行く社会が生れるために、自分の小さい力を使いたい」とあるので、この部分から b の要素を押さえた。

「自分の家柄や社会的地位を自覚している」などの答案もあったが、具体的に「貧しい」という要素を明記することが大切。また、「渡米を考える余裕がない」「自由を求める身分ではない」などの否定的な理由を記している答案も散見されたが、鬼怒田がもっと積極的に貧しい人のために尽力しようとしていることを読み取ろう。

(二)・(三)・(四) いずれも全体的によく読解できていた。

(五) 「採点基準」

「a 渡米に関して自分が満足できるような確固たる目的がなかったが、b 鬼怒田との会話により、c 自由な生き方を目指そうという d 考えが桑一郎の中で (d) まとまりかけていた」と説明して — 14点
 * a 6点、b 2点、c 3点、d 3点。
 概ねポイントを押さえた答案が多いが、抜けが目

立つのはc「自由」という要素。「渡米の目的が明確になつてきた」などとするのはよいが、ではその目的は何なのかという点まで検討して、具体的に「自由」というキーワードを答案に盛り込もう。

(六) (ウ)を選ばず誤答が多かった。もつともらしい選択肢に惑わされないようにしよう。本文のどこを根拠とできるか、選択肢と本文を照らし合わせて考えることが大切。

古文

(一) 全体的によい出来だったが、(c)はやや誤りが目立った。「尽く」の連用形にサ変動詞「す」が付いたものである。

(二) (x)は「(顔を)覆う」などとした誤答が多いが、「目十守る」という成り立ちであり、へじつと見つめる意。(y)「やさし」を現代語の「易しい」と解して「簡単に」などとする誤答が多い。この「やさし」は漢字で書くと「優し」で「優美だ」という意味。(z)は概ねよくできていた。

(三) 「採点基準」

今朝は a 雪もひどく降り積もり嵐もたいそう激しいので、b 明日宮中に参上なさるのがよいという c 自分の娘の言葉は道理だ」と説明して——10点
* a 3点、b 3点、c 4点。

文脈をきちんと理解できている人が多かった。

(四) 和歌の内容をよく把握できていた。

(五) 「採点基準」

「aこの世にありはて bても cなにかはせん」を
「aこの世にずっと生きてい bても c何になるだろうか、いや何にもならない」と訳して——8点
* a 3点、b 1点、c 4点。

「なにかはせん」は反語で「何になろうか、いや、何にもならない」の意味だが、ここを「何かをしよう」という意志とする誤答が見された。文意が全く反対になり、前後の内容に合わない。

(六) 「採点基準」

「a伊周が b宮中に c戻る」と説明して——6点
* a 2点、b 2点、c 2点。

概ねよい出来だが、「伊周が死ぬこと」という誤答が見された。「雲居」の意味がわからず、雲に帰る↓死ぬと想像したのだろうか。(宮中)の意を覚えておこう。「伊周公を召し返さるべきよし君より仰せ下され、つひに都へ上り給ふ」とあることに着目すれば、伊周の死は描かれていないと判断できる。

(七) 誤答は各選択肢に分散した。解説をよく読んで復習しておこう。

(四) 漢文

(一) (a)・(c)はよい出来。(b)は難度の高い問題なので、この機会に読み方を覚えておこう。

(二)・(三) 概ねよくできていた。

(四) 「採点基準」

「a従ふ(こと) b無かる cべけんや(と)」と書き下して——4点
* a 1点、b 1点、c 2点。

少し前に「可無帰乎」とあることに着目し、読む順番は把握できている答案が多いが、「べけんや」の読み方が難しく、読めた人は少数だった。

「採点基準」

「a従属し bないでいられようか、いや、従属する(と)」と訳して——4点
* a 1点、b 3点。

前後の内容から、意味を正しくつかめている答案が多かった。

(五) 「採点基準」

「a戦いに勝つよりも信義を守ることが貫いた b 文公は、c王として信頼するに足ると考えた」と説明して——8点
* a 4点、b 1点、c 3点。

しっかり解答要素を押さえている答案がある一方、無解答や見当違いの答案などがあり、差がついた問題だ。

(六) 本文にある漢字を使用して紛らわしく作られた選択肢であり、惑わされた人が多かったようだ。